

2009年3月期決算説明会

電気興業株式会社
2009年5月29日

1. 決算ハイライト

2. 今期の見通し

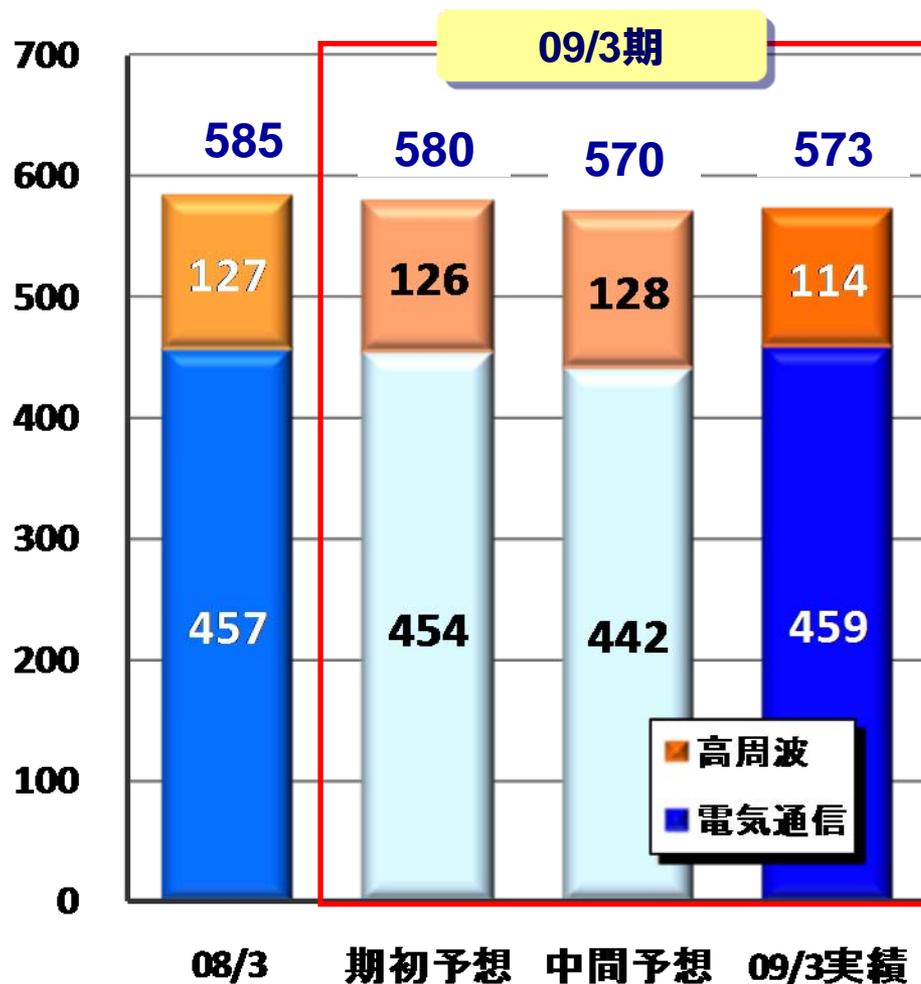
3. 株主還元

1. 決算ハイライト

連結決算の概要：売上高

連結売上高

(億円)



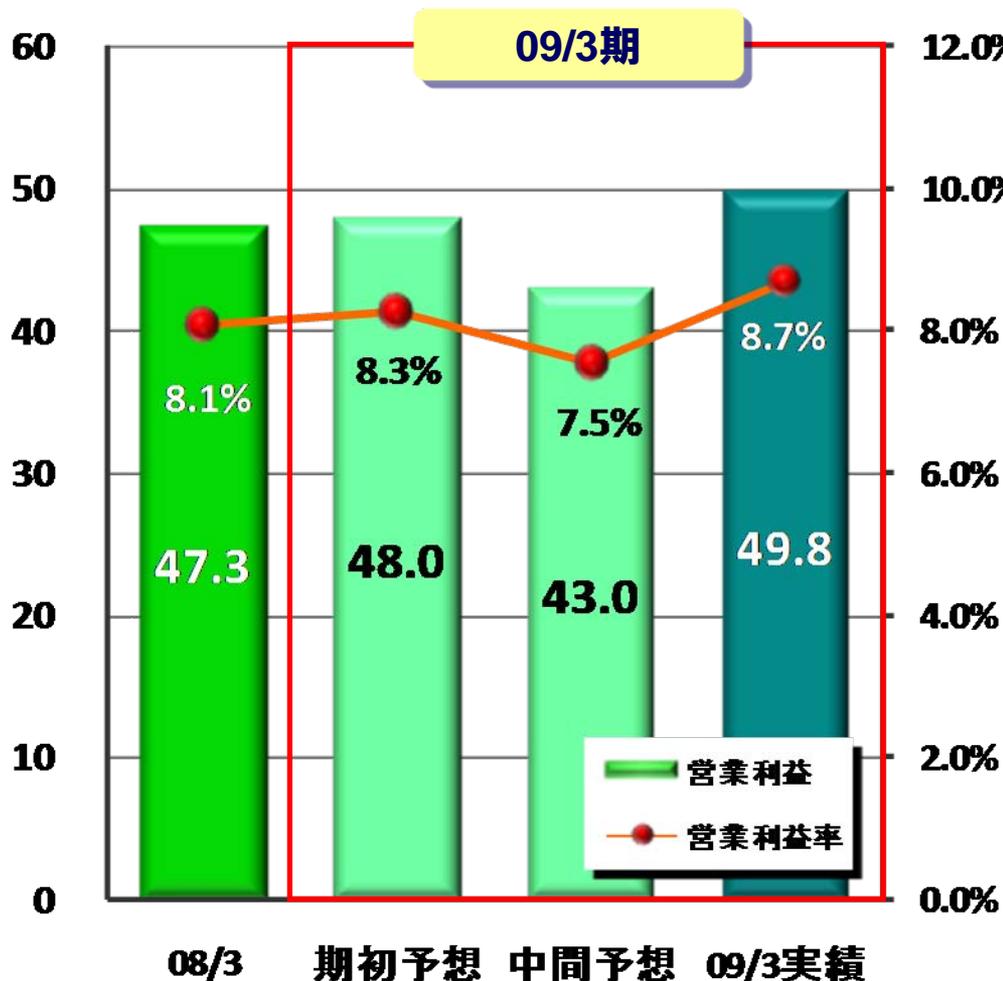
09/3期実績：573億円

- 08/3期比：
11億8千万円減収
(2.0%減収)
- 期初予想比：
7億2千万円減収
(1.2%減収)

連結決算の概要：営業利益

連結営業利益

(億円)



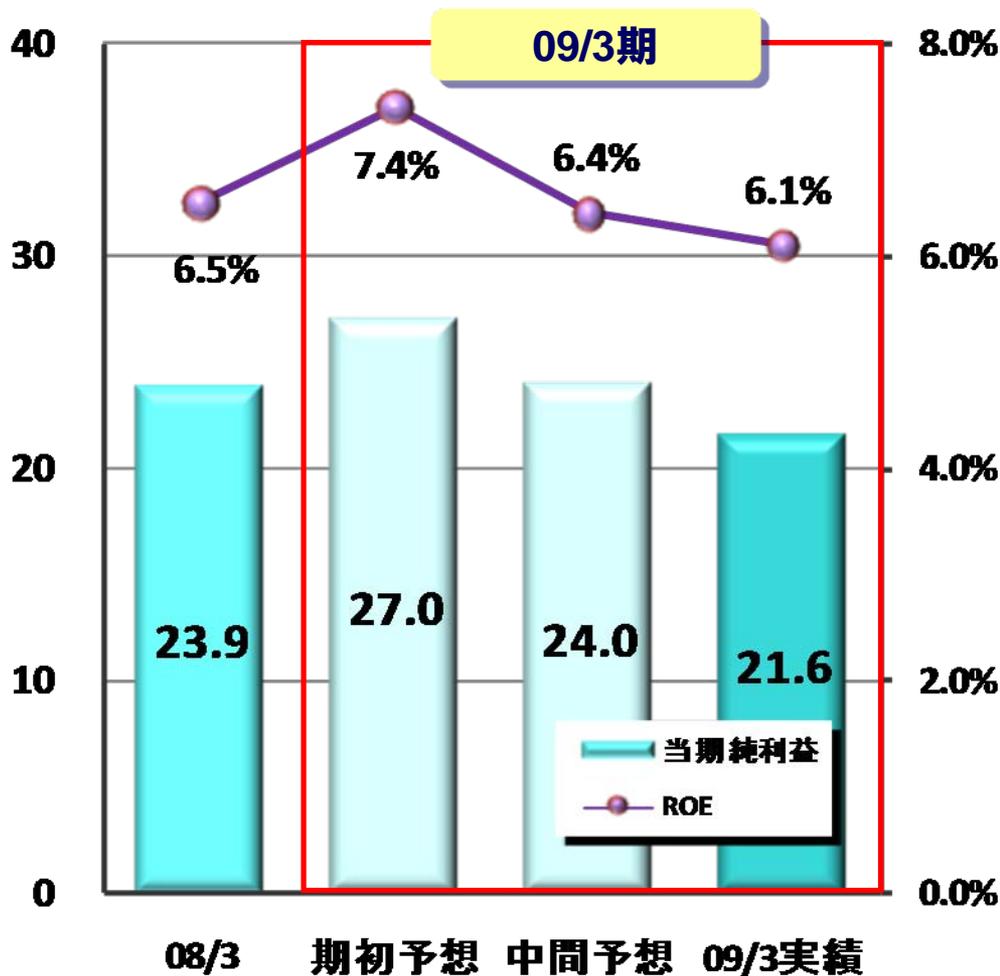
12.0% **09/3期実績：49.8億円**

- 08/3期比：
2億4千万円増益
(5.1%増益)
- 期初予想比：
1億8千万円増益
(3.6%増益)

連結決算の概要：当期純利益

連結当期純利益

(億円)



09/3期実績：21.6億円

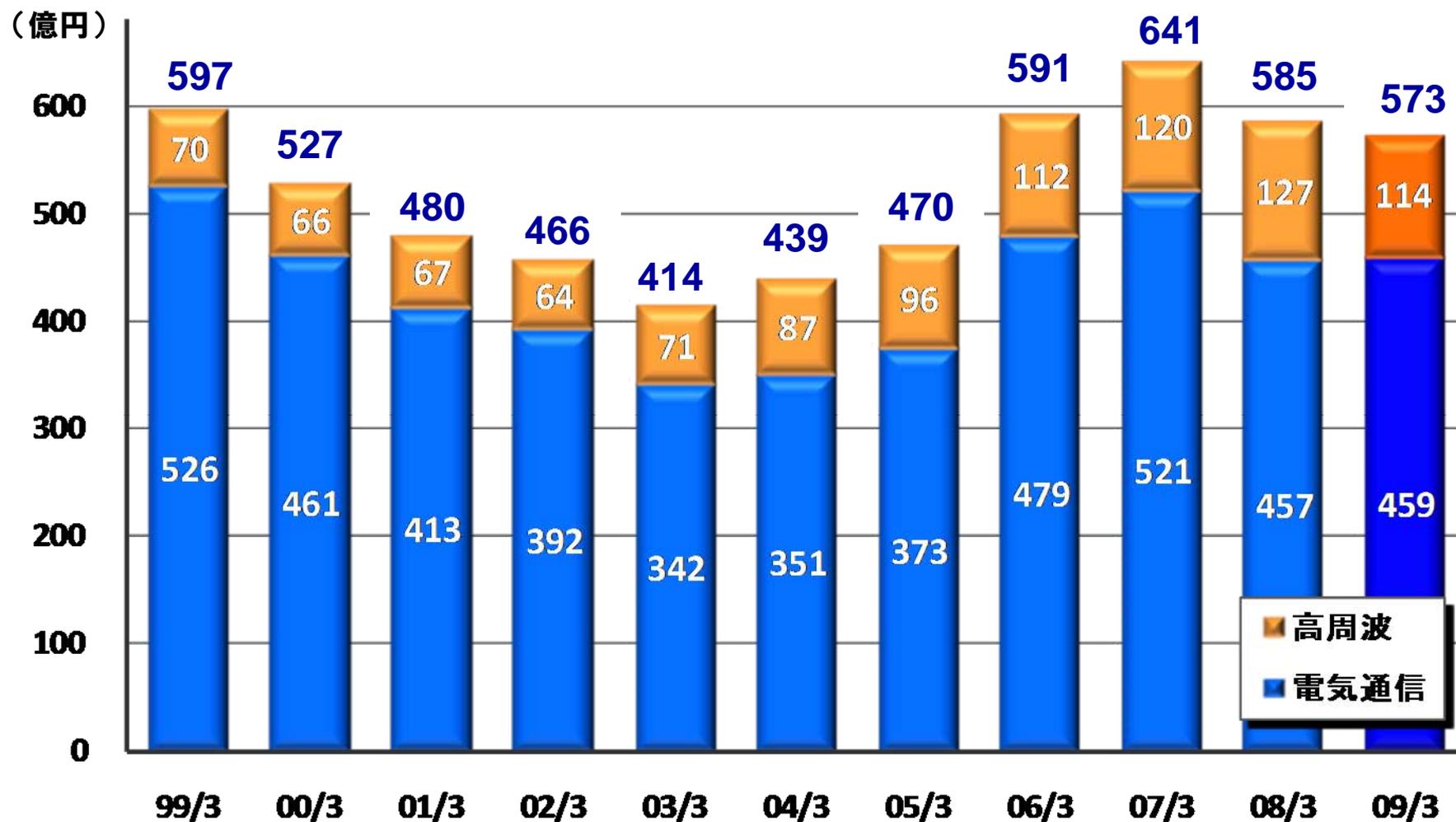
- 08/3期比：
2億3千万円減益
(9.5%減益)
- 期初予想比：
5億4千万円減益
(19.9%減益)

売上高の推移【連結】

2009/3期 決算説明会資料

Denki Kogyo Co., Ltd.

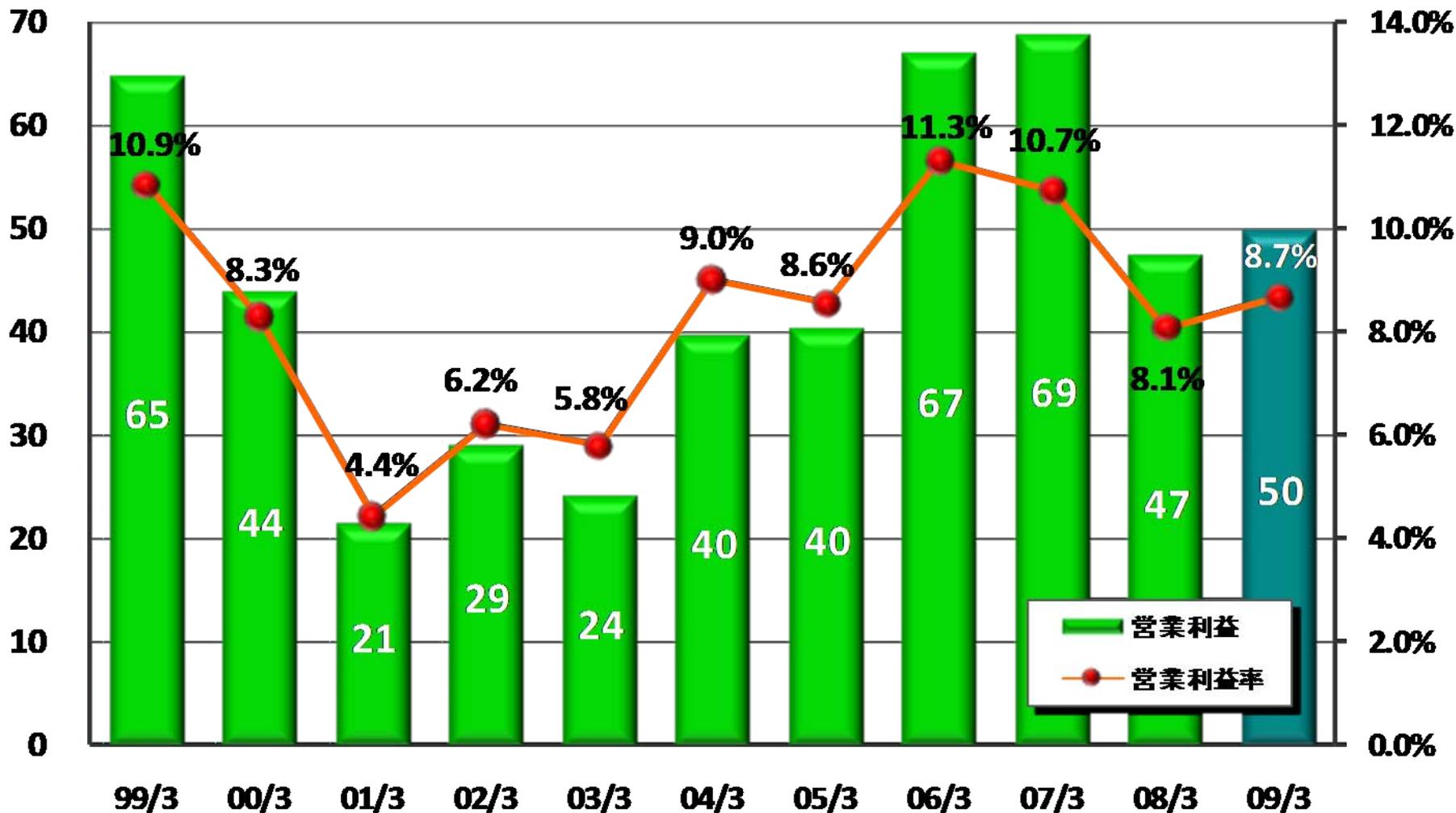
07/3期でMNP需要は一巡も、依然として高水準を維持



営業利益の推移【連結】

■ 営業利益率も8%台後半の水準を維持

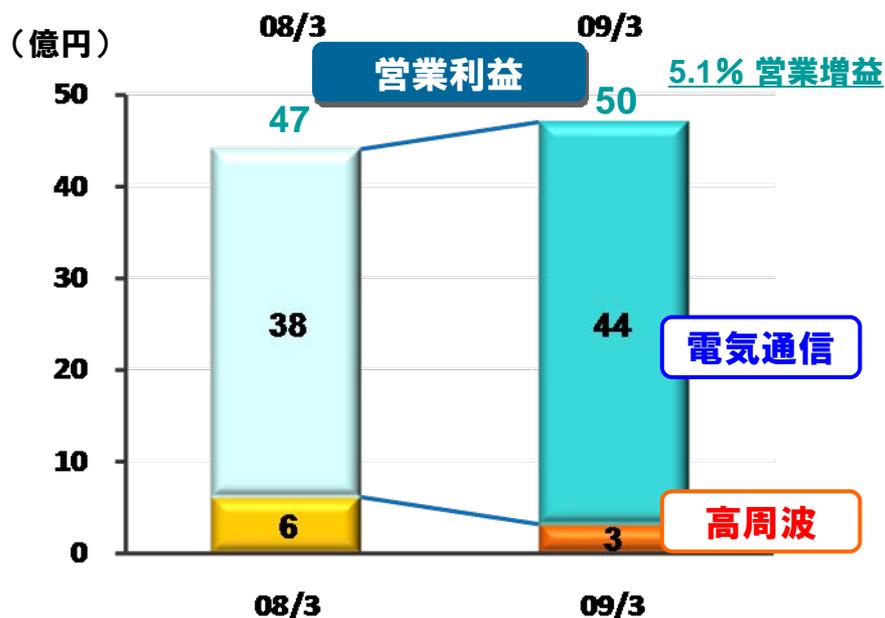
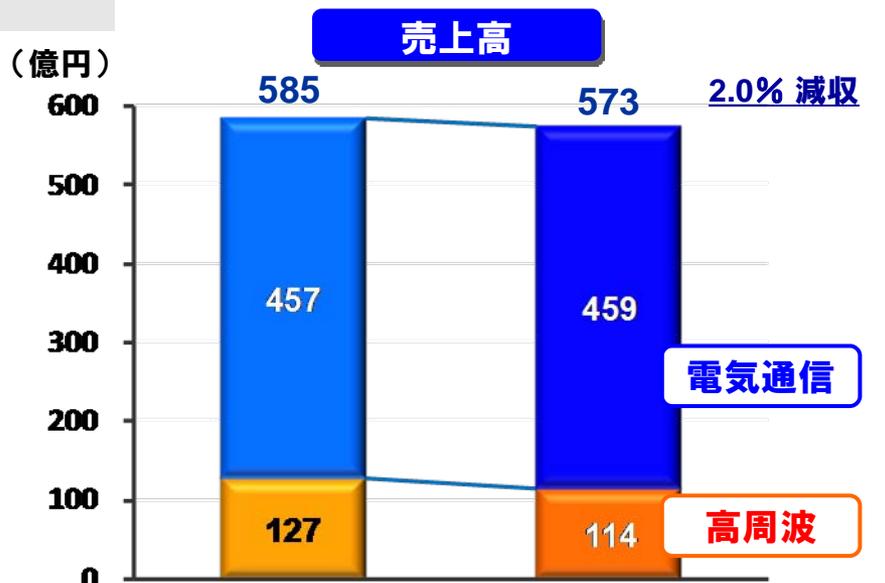
(億円)



セグメント別業績【連結】

2009/3期 決算説明会資料

Denki Kogyo Co., Ltd.



(単位：百万円)

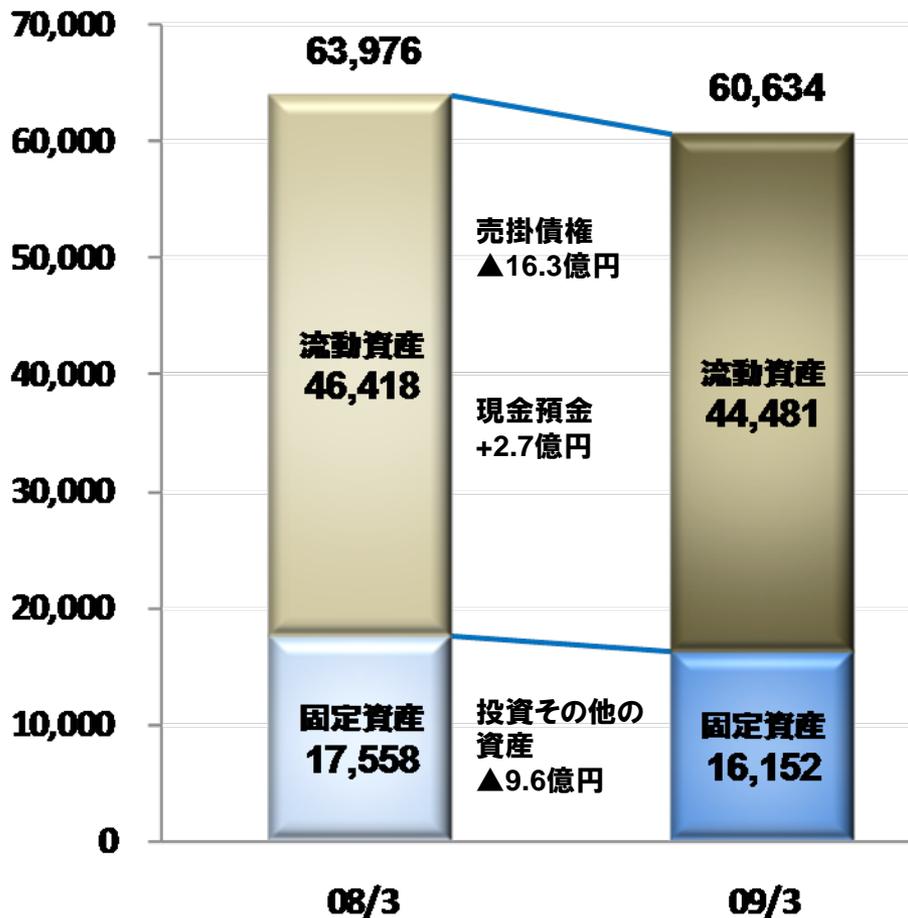
連結	08/3	09/3	増減額	増減率
売上高	58,465	57,281	-1,184	-2.0%
電気通信	45,742	45,870	128	0.3%
高周波	12,696	11,399	-1,297	-10.2%
営業利益	4,732	4,975	243	5.1%
電気通信	3,767	4,353	586	15.6%
高周波	597	271	-326	-54.6%
営業利益率	8.1%	8.7%		
電気通信	8.2%	9.5%		
高周波	4.7%	2.4%		

※ 設備貸付および全社セグメントは省略

貸借対照表の要約【連結】

資産の部

(単位:百万円)



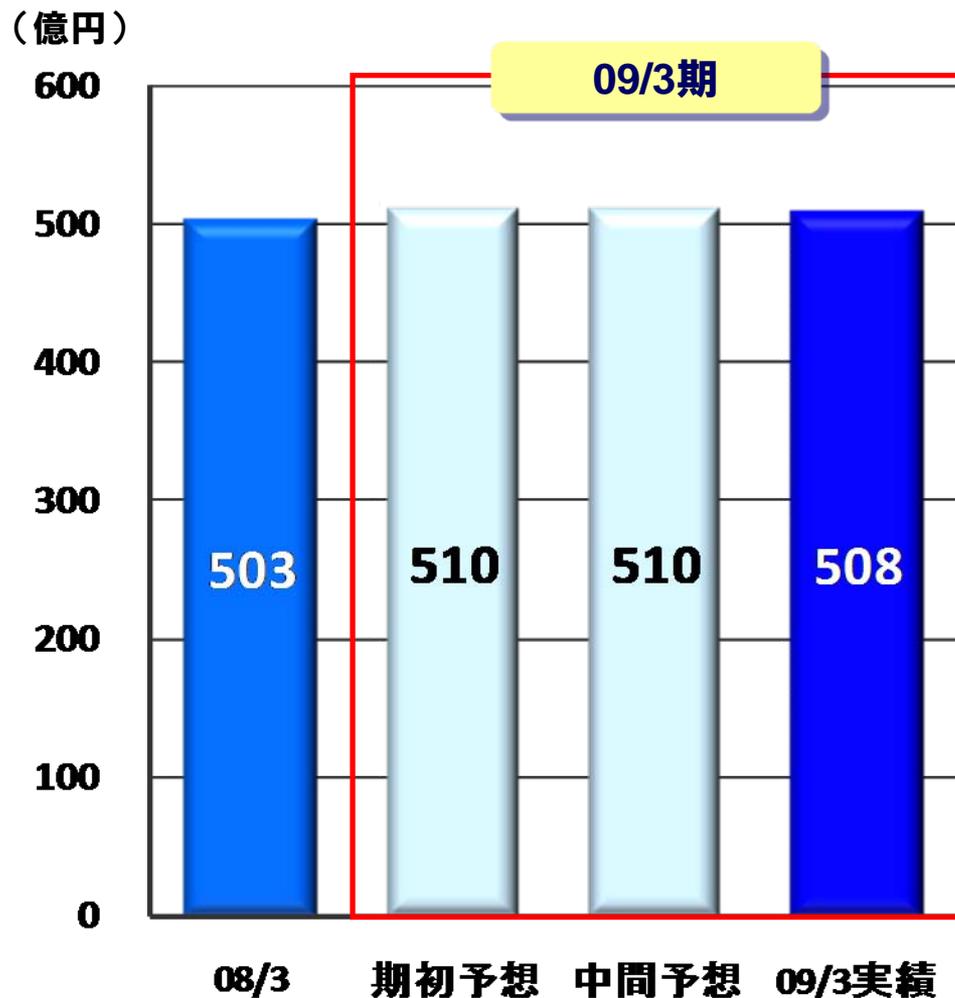
負債・純資産の部

(単位:百万円)



単体決算の概要：売上高

単体売上高

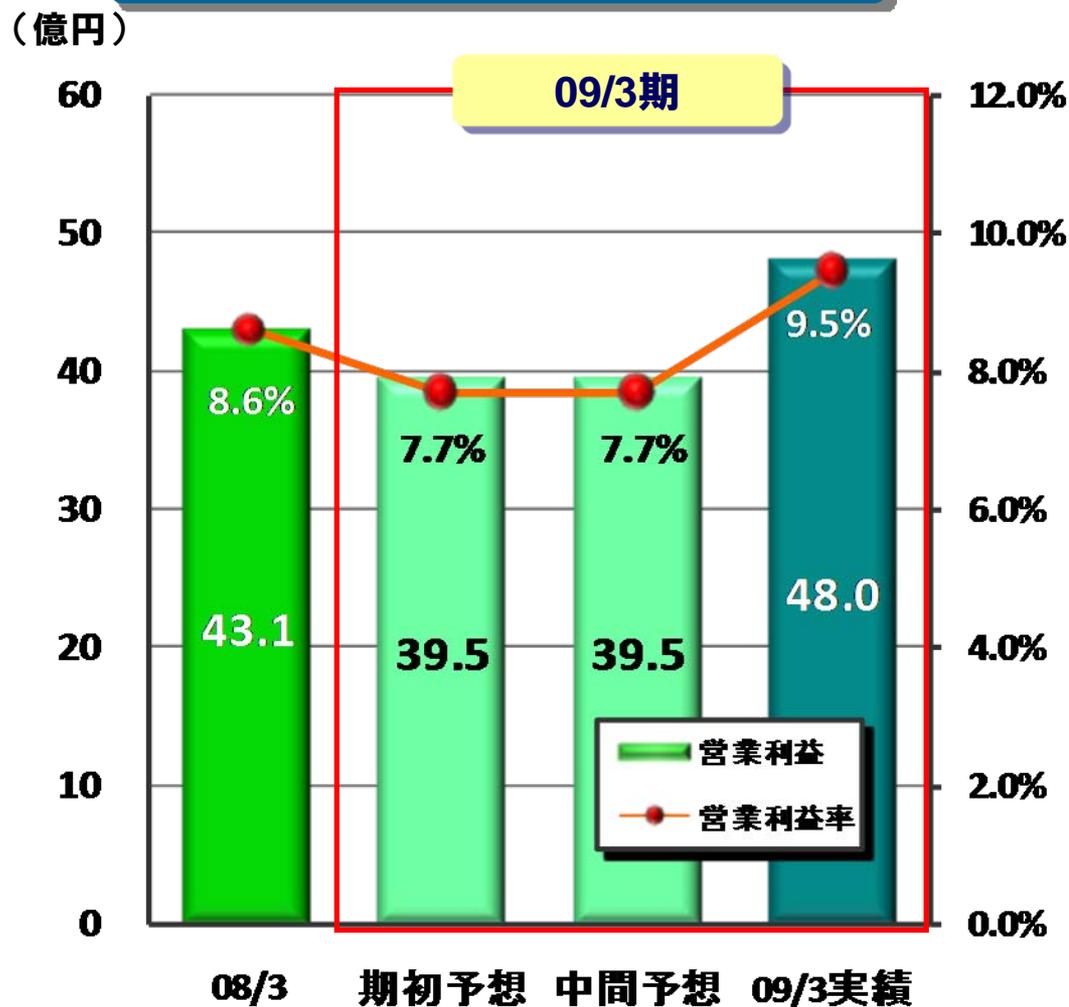


09/3期実績：508億円

- 08/3期比：
4億7千万円増収
(0.9%増収)
- 期初予想比：
2億3千万円減収
(0.4%減収)

単体決算の概要：営業利益

単体営業利益

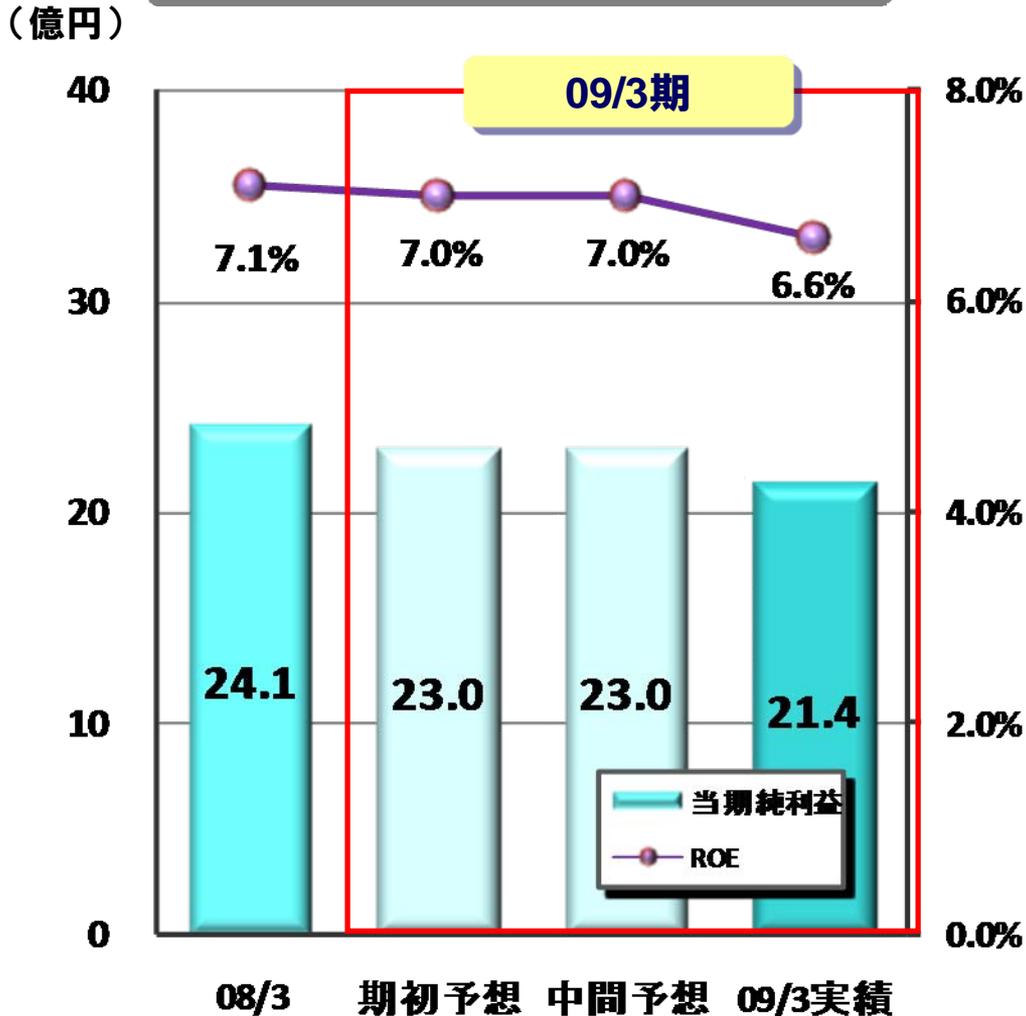


09/3期実績：48.0億円

- 08/3期比：
4億9千万円増益
(11.4%増益)
- 期初予想比：
8億5千万円増益
(21.5%増益)

単体決算の概要：当期純利益

単体当期純利益



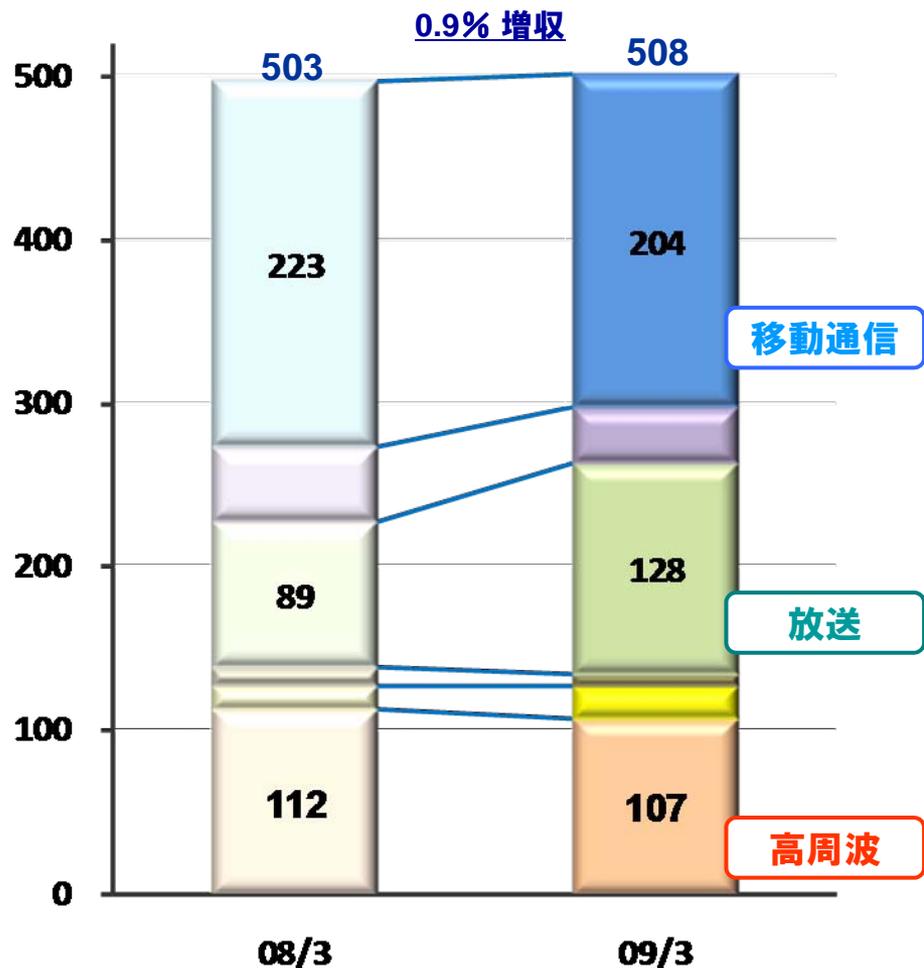
09/3期実績：21.4億円

- 08/3期比：
2億7千万円減益
(11.3%減益)
- 期初予想比：
1億6千万円減益
(7.0%減益)

セグメント別売上高【単体】

■ 移動通信、固定無線の減収を放送がカバー

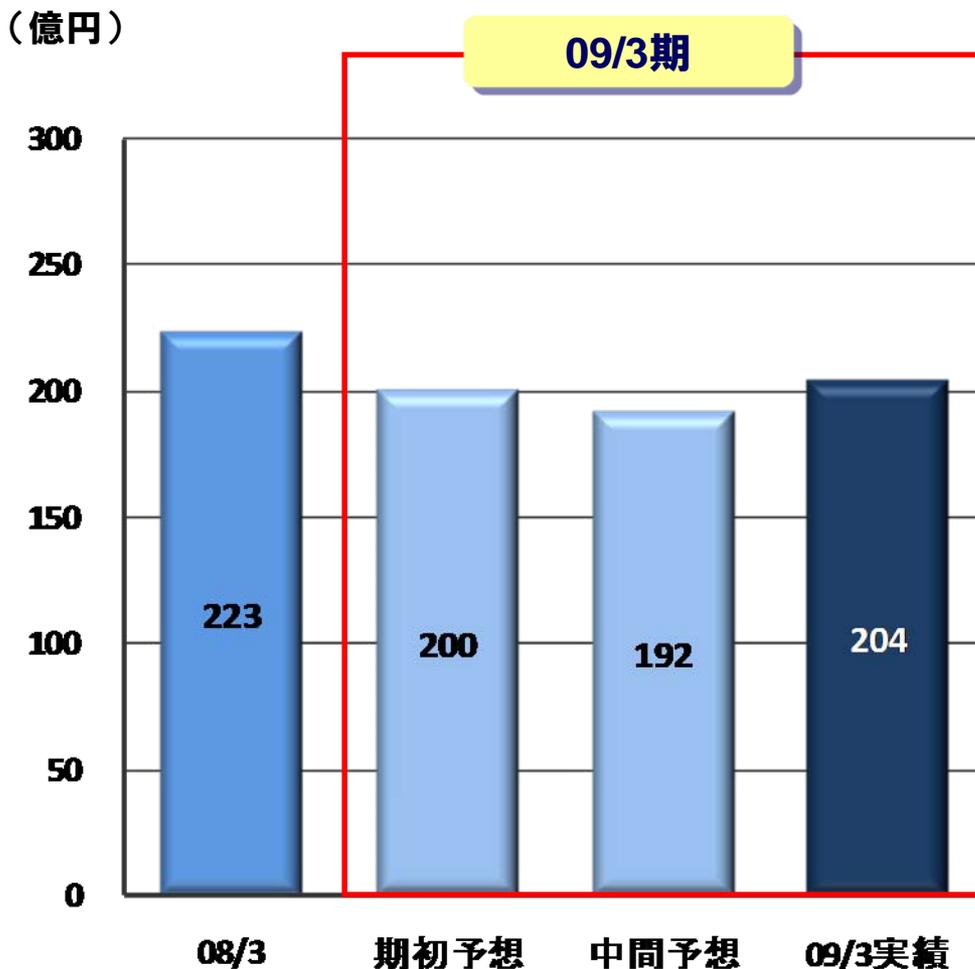
(億円)



(単位：百万円)

単体	08/3	09/3	増減額	増減率
売上高	50,300	50,773	473	0.9%
電気通信	38,425	39,607	1,182	3.1%
移動通信	22,340	20,441	-1,899	-8.5%
固定無線	4,565	3,424	-1,141	-25.0%
放送	8,911	12,826	3,915	43.9%
有線放送	1,093	888	-205	-18.8%
その他	1,513	2,025	512	33.8%
高周波	11,220	10,659	-561	-5.0%
誘導加熱装置	8,362	8,430	68	0.8%
熱処理加工	2,857	2,229	-628	-22.0%

移动通信売上高【単体】



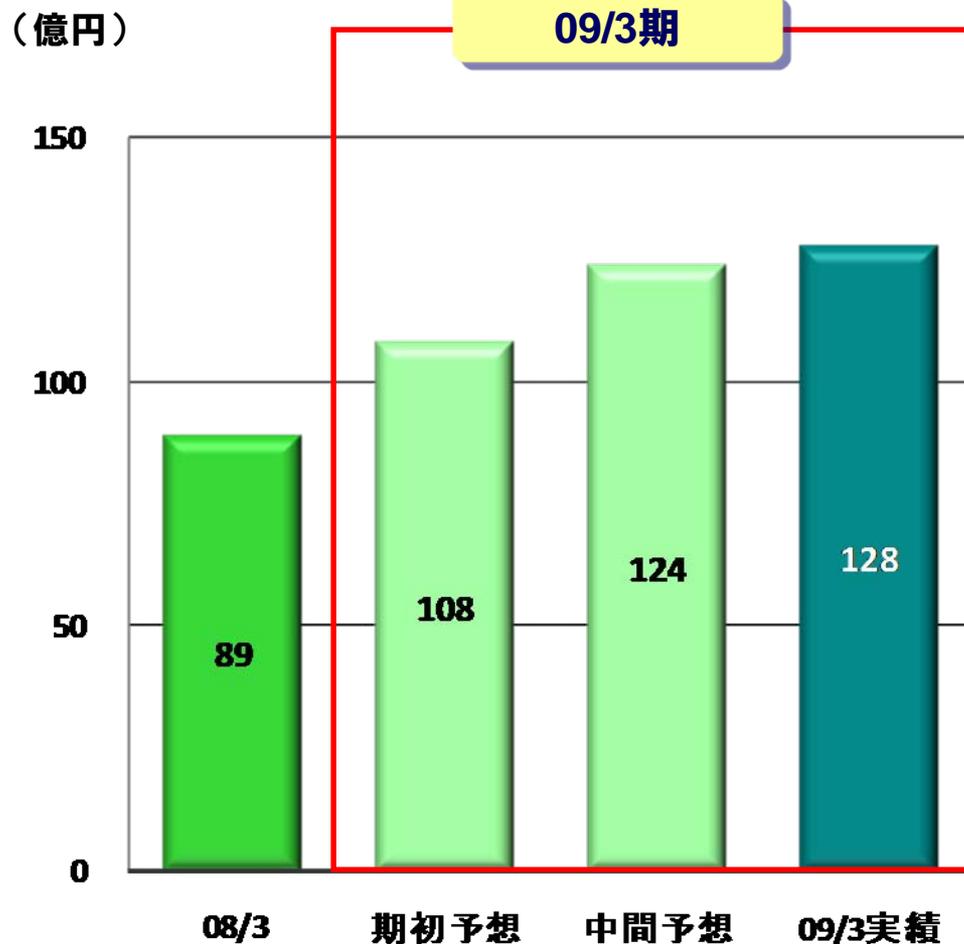
アンテナ需要が堅調であったため、期初予想を上回る売上を確保

前期との比較では、鉄塔・工事の減少により8.5%の減収

ドコモ:通信品質の向上を目指し、アンテナ需要を中心に基地局投資が継続

KDDI(au):周波数再編に向け、800MHz帯を中心に下期後半より基地局投資が拡大

放送売上高【単体】



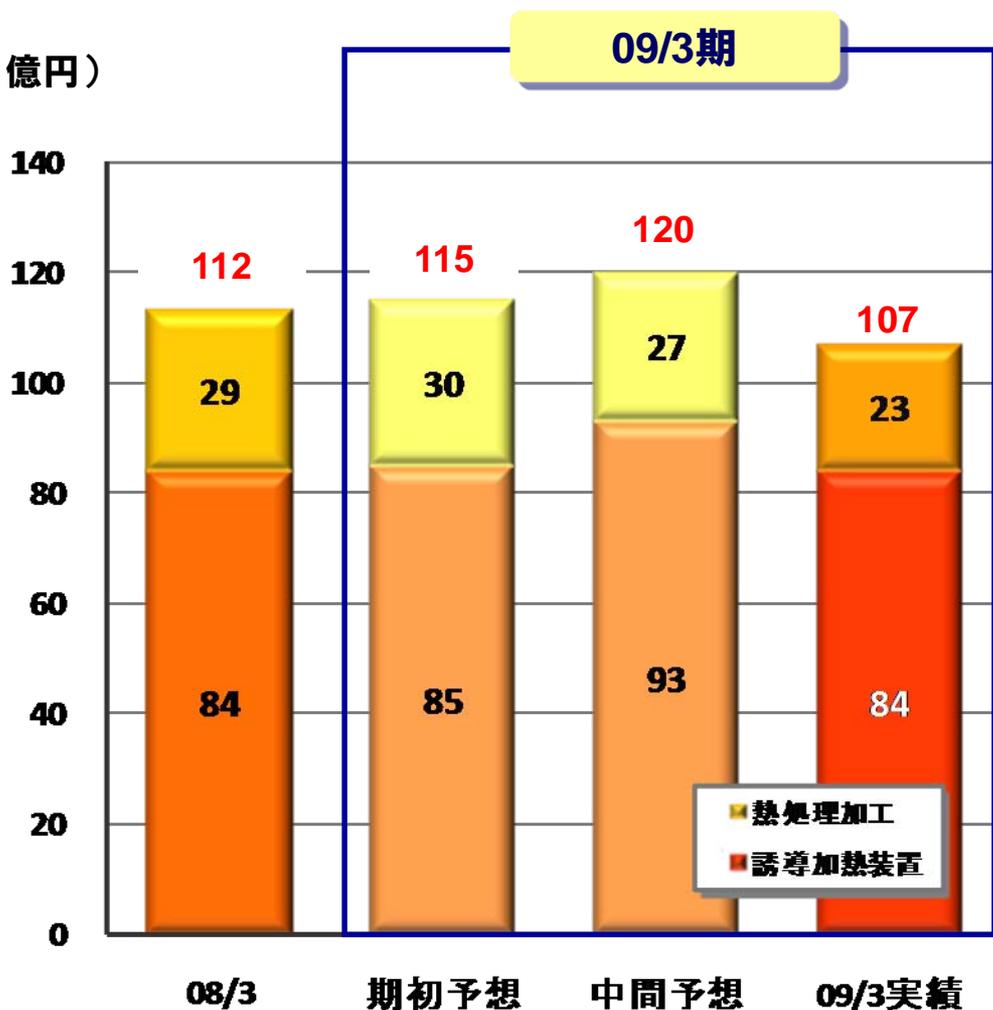
期初予想を18.8%上回り、過去最高の売上高を達成

2011年7月の地上デジタル放送への完全切替に向け、放送事業者による中継局の建設が急ピッチで進展

アンテナから鉄塔・工事までを一貫して行える強みを発揮し、一括受注が増加

高周波売上高【単体】

(億円)



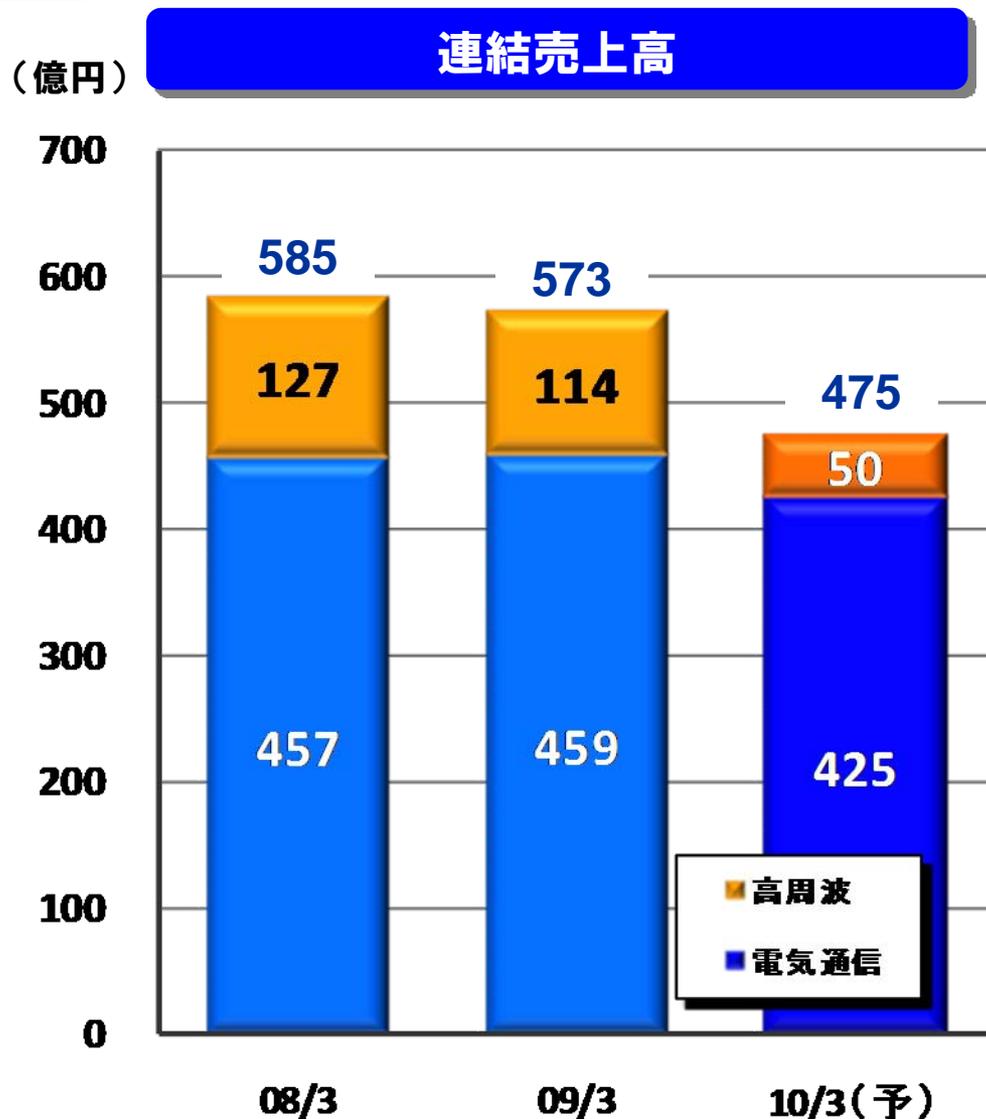
上期は堅調も、下期以降の自動車関連業界の設備投資急減により、売上高は期初予想比7.3%減

誘導加熱装置は、受注から納品までのリードタイムが長いいため、上期までの受注残の消化もあり、売上高は前期並みを確保

熱処理加工は、自動車部品の受託加工が主であるため、下期以降の受注環境の悪化や生産調整の影響を直接受け、減収に

2. 今期の見通し

連結決算の見通し：売上高



10/3期予想：475億円

- 09/3期比：
97億8千万円減収
(17.1%減収)
- 電気通信：
34億円減収 (7.3%減収)
- 高周波：
64億円減収 (56.1%減収)

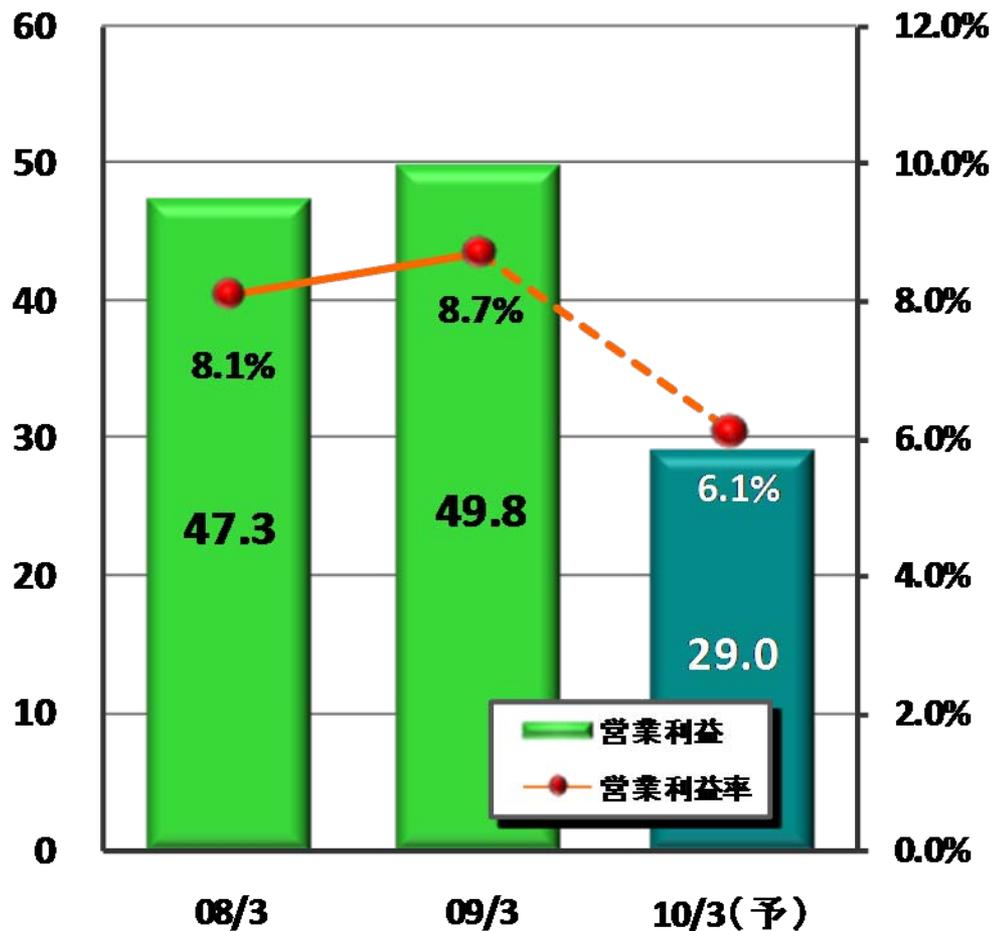
連結決算の見通し：営業利益

2009/3期 決算説明会資料

Denki Kogyo Co., Ltd.

連結営業利益

(億円)

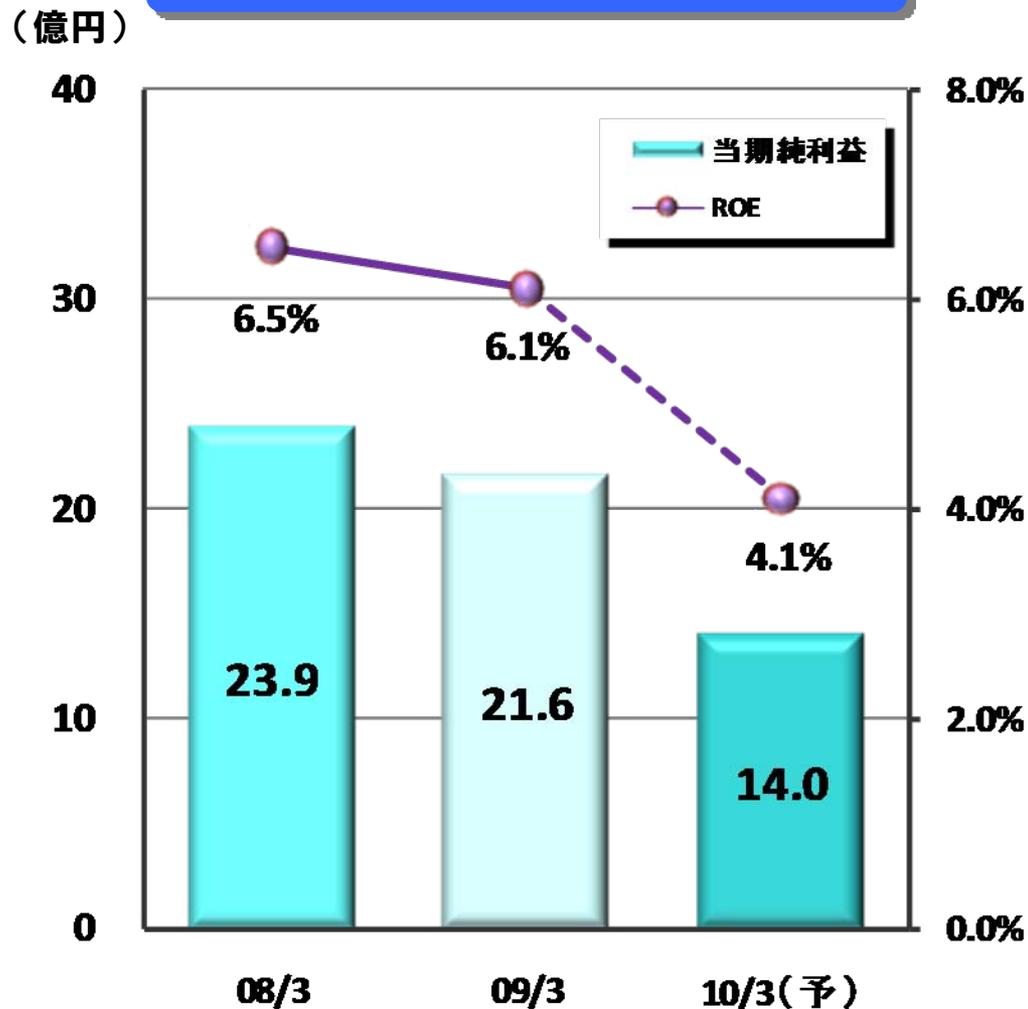


10/3期予想：29億円

- 09/3期比：
20億8千万円減益
(41.7%減益)
- 営業利益率予想 6.1%
(2.6ポイント低下)

連結決算の見通し：当期純利益

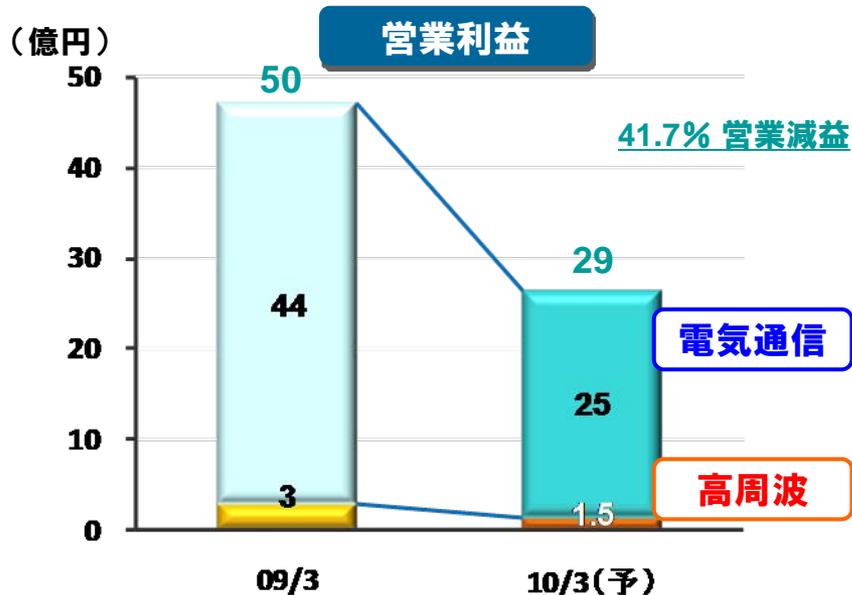
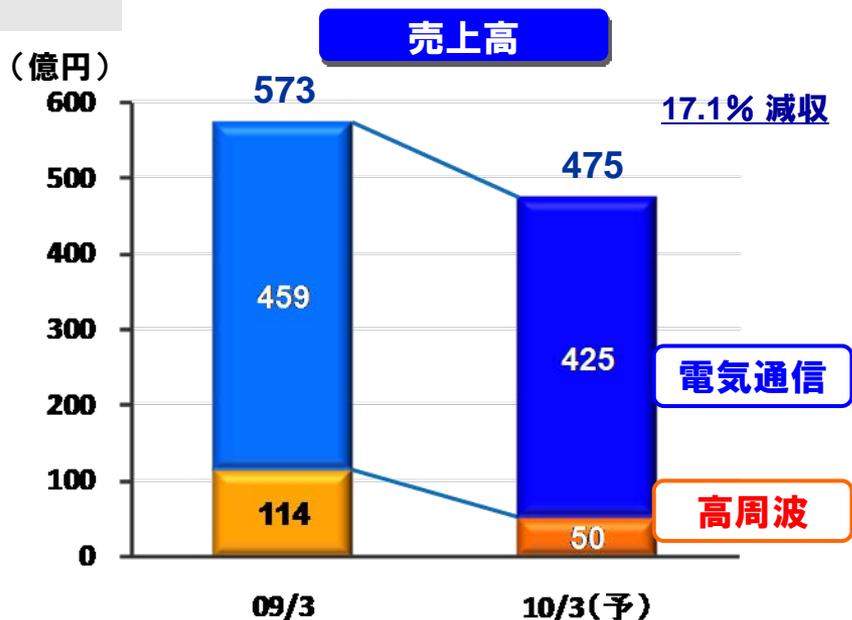
連結当期純利益



10/3期予想：14億円

- 09/3期比：
7億6千万円減益
(35.3%減益)
- ROE予想：4.1%
(2.0ポイント低下)

セグメント別業績見通し【連結】



(単位：百万円)

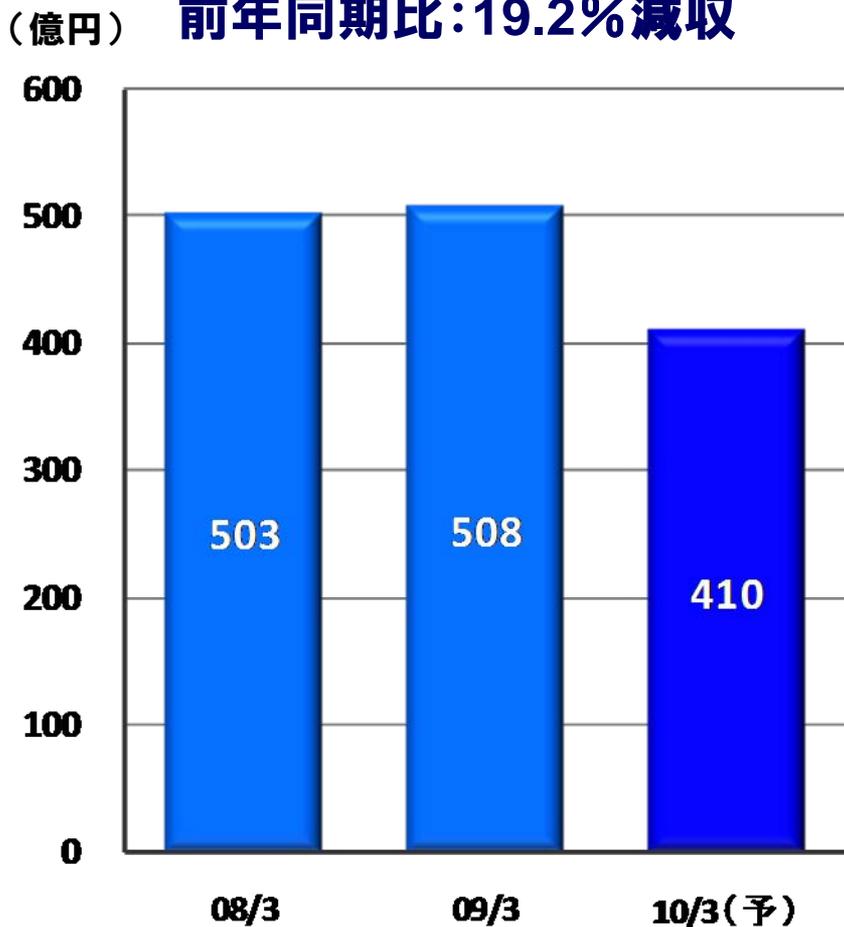
連結	09/3	10/3	増減額	増減率
売上高	57,281	47,500	-9,781	-17.1%
電気通信	45,870	42,500	-3,370	-7.3%
高周波	11,399	5,000	-6,399	-56.1%
営業利益	4,975	2,900	-2,075	-41.7%
電気通信	4,353	2,500	-1,853	-42.6%
高周波	271	150	-121	-44.6%
営業利益率	8.7%	6.1%		
電気通信	9.5%	5.9%		
高周波	2.4%	3.0%		

※ 設備貸付および全社セグメントは省略

単体業績見通しの概要

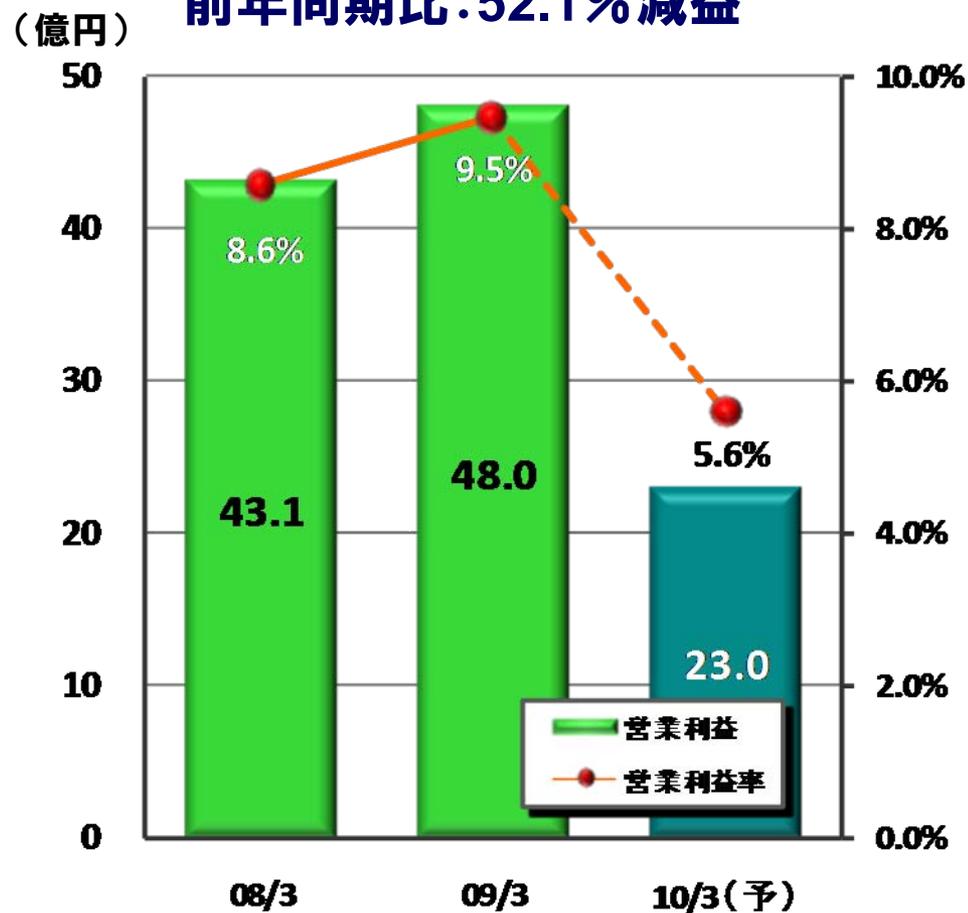
単体売上高

前年同期比:19.2%減収



単体営業利益

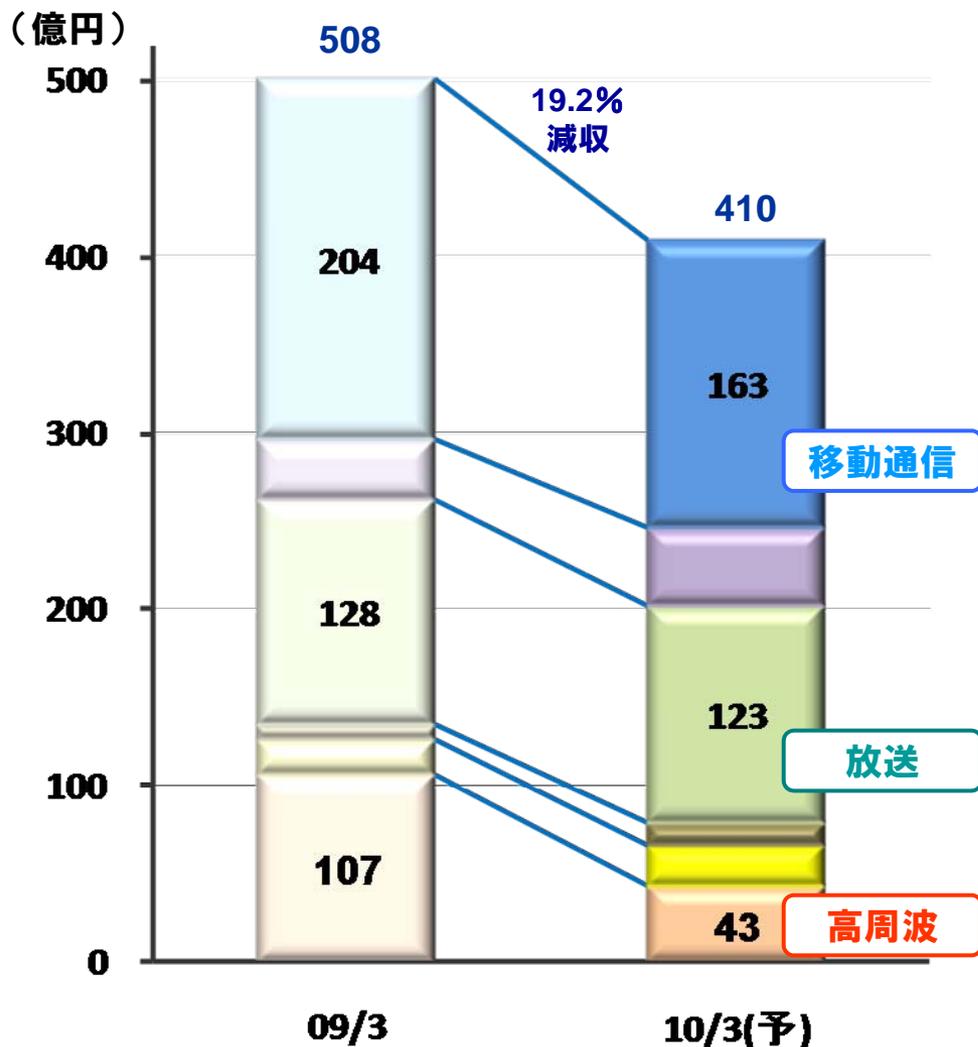
前年同期比:52.1%減益



セグメント別売上高見通し【単体】

■ 移动通信、高周波を主因として減収

(単位：百万円)

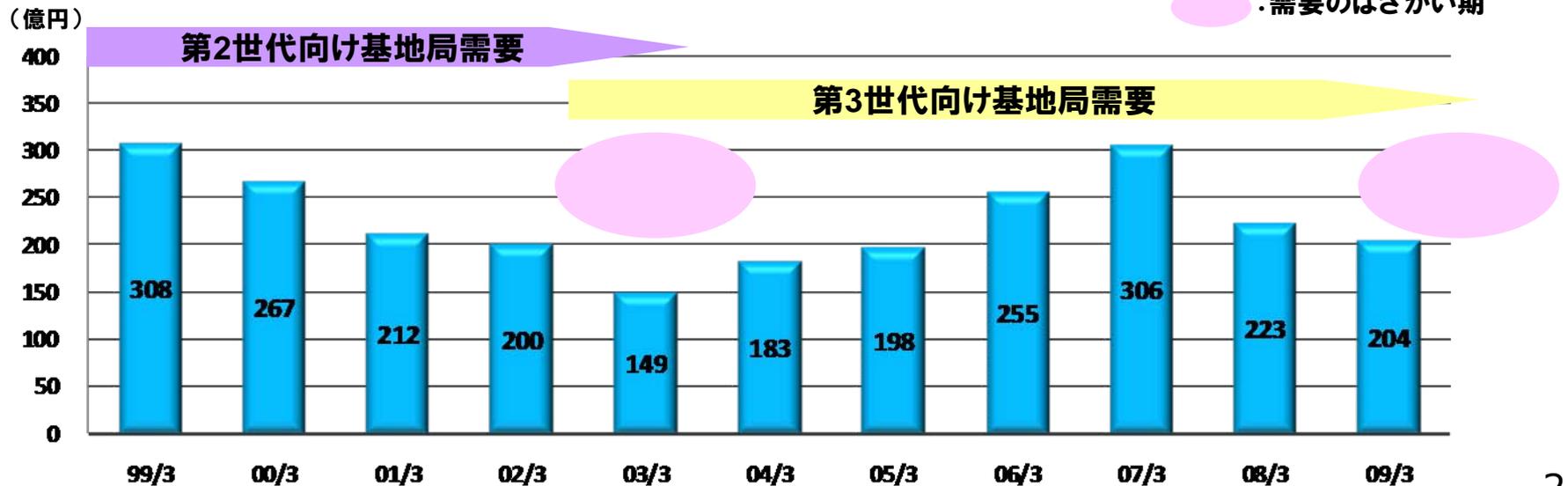


単体	09/3	10/3	増減額	増減率
売上高	50,773	41,000	-9,773	-19.2%
電気通信	39,607	36,700	-2,907	-7.3%
移动通信	20,441	16,300	-4,141	-20.3%
固定無線	3,424	4,500	1,076	31.4%
放送	12,826	12,300	-526	-4.1%
有线放送	888	1,300	412	46.4%
その他	2,025	2,300	275	13.6%
高周波	10,659	4,300	-6,359	-59.7%
誘導加熱装置	8,430	4,000	-4,430	-52.6%
熱処理加工	2,229	300	-1,929	-86.5%

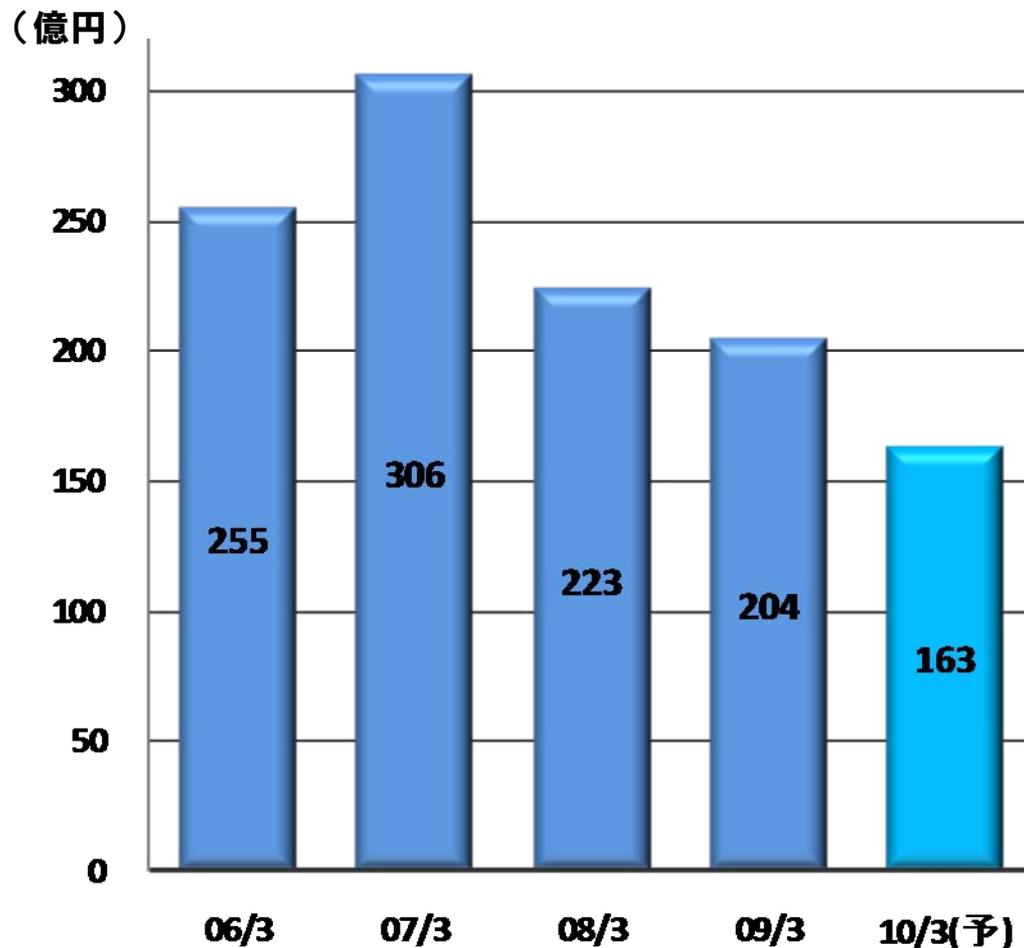
第3世代とLTE(3.9世代)との需要のはざかい期

近年続いた高水準のアンテナ需要に一服感

■ 移動通信設備投資需要と当社移動通信セグメントの売上推移



移动通信売上高推移【単体】



今期売上高は前期比20.3%
減収の見通し

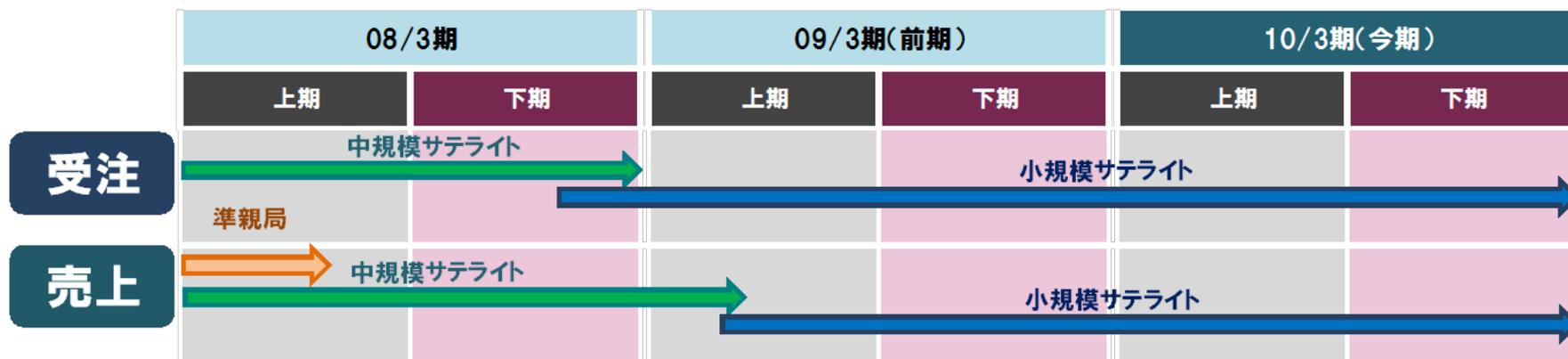
需要のはざかい期のため、鉄
塔・工事関連需要の減少傾向
に加え、アンテナ需要も減少
する見通し

ドコモが2010年からのLTE
サービス開始を公表も、10/3
期での売上貢献は限定的

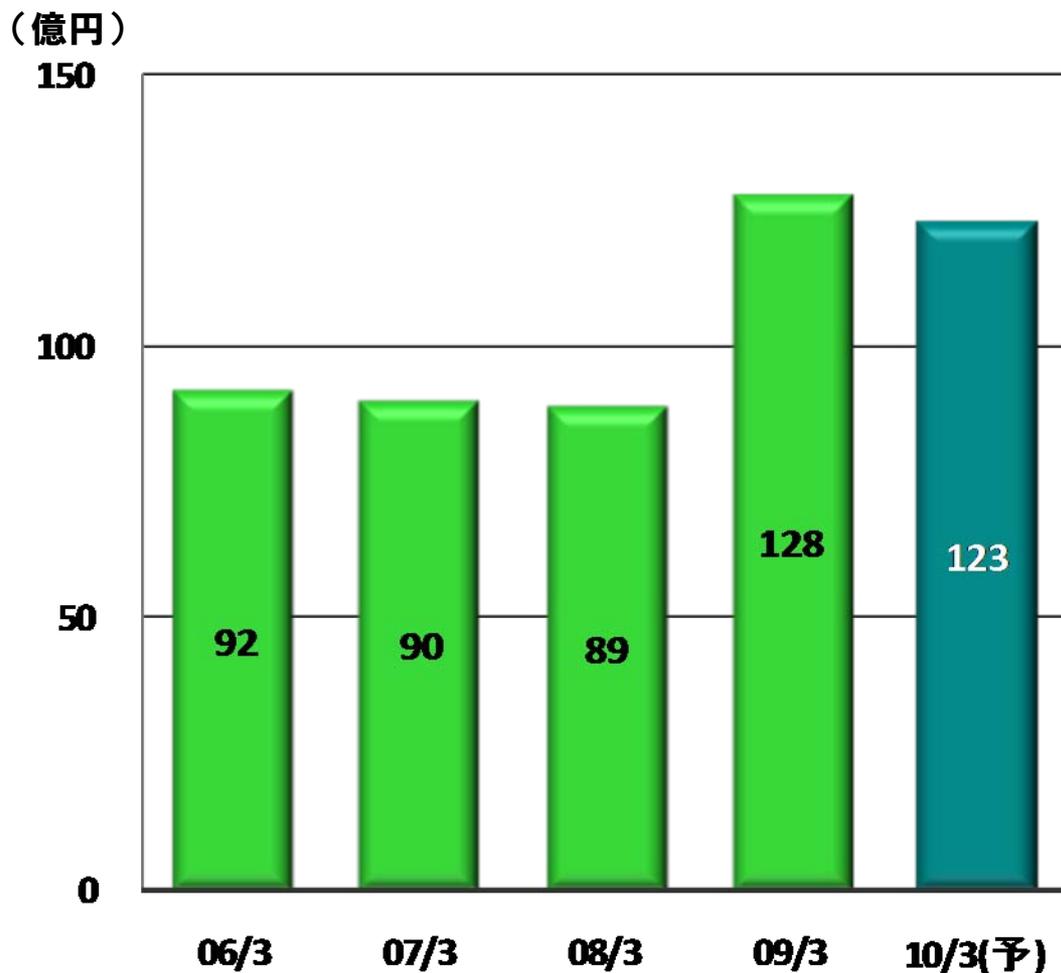
2011年7月のデジタル化へ向け、放送各社は今期も高水準の設備投資を継続

デジタル化への最終段階を迎え、中継局建設は小型規模サテライトに

■ 地上デジタル放送 設備投資別 受注・売上見通し



放送売上高推移【単体】



前期に引き続き、120億円を上回る高水準を維持

中継局は小規模になるものの、数多く建設される見通しであり、設備投資需要は引き続き活況

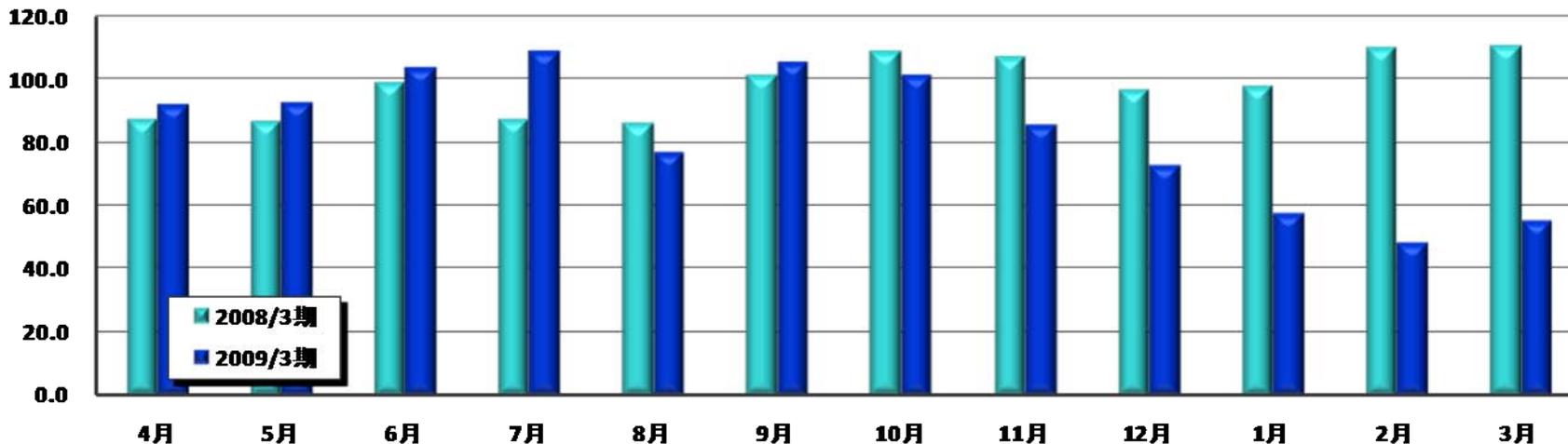
前期が売上のピークとみており、前期比では4.1%減の見通し

09/3期下期から自動車生産は急減、直近で前年の2分の1の水準まで低下

自動車業界設備投資の減少により、今期は厳しい受注環境

■ (参考) 自動車生産台数の推移(08/3期~09/3期:月別)

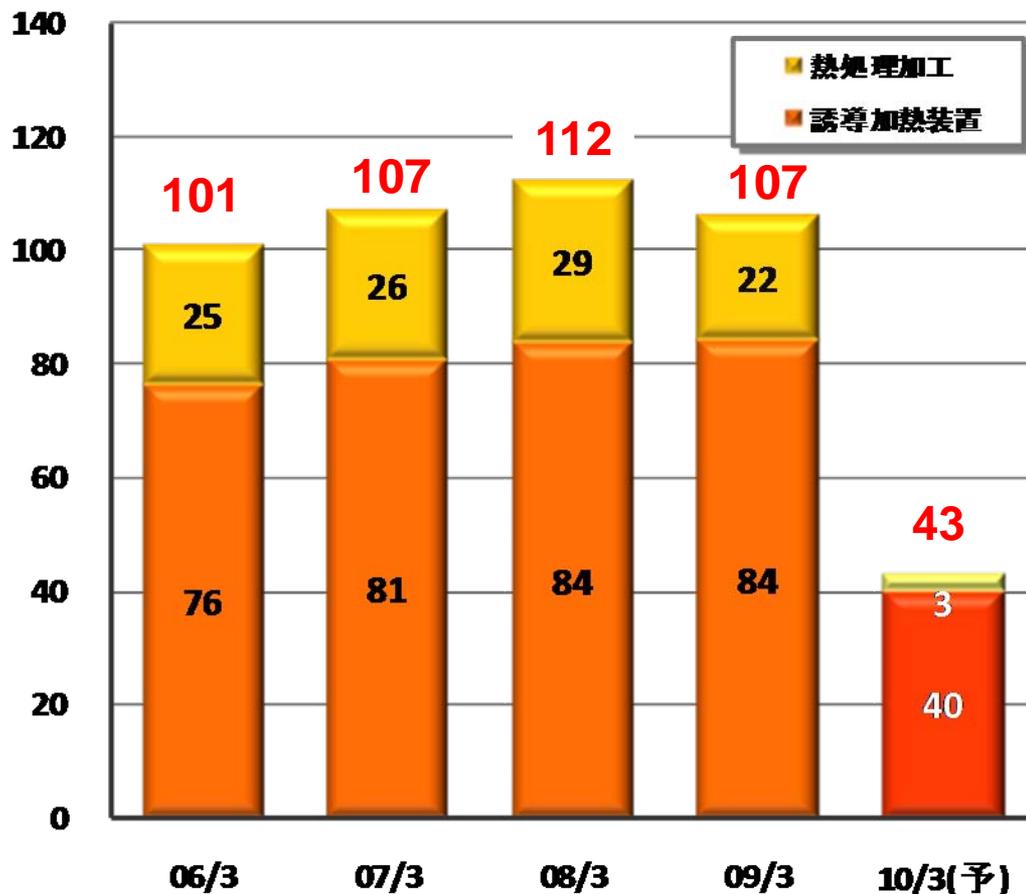
(単位:万台)



(出所) 社団法人日本自動車工業会

高周波売上高推移【単体】

(億円)



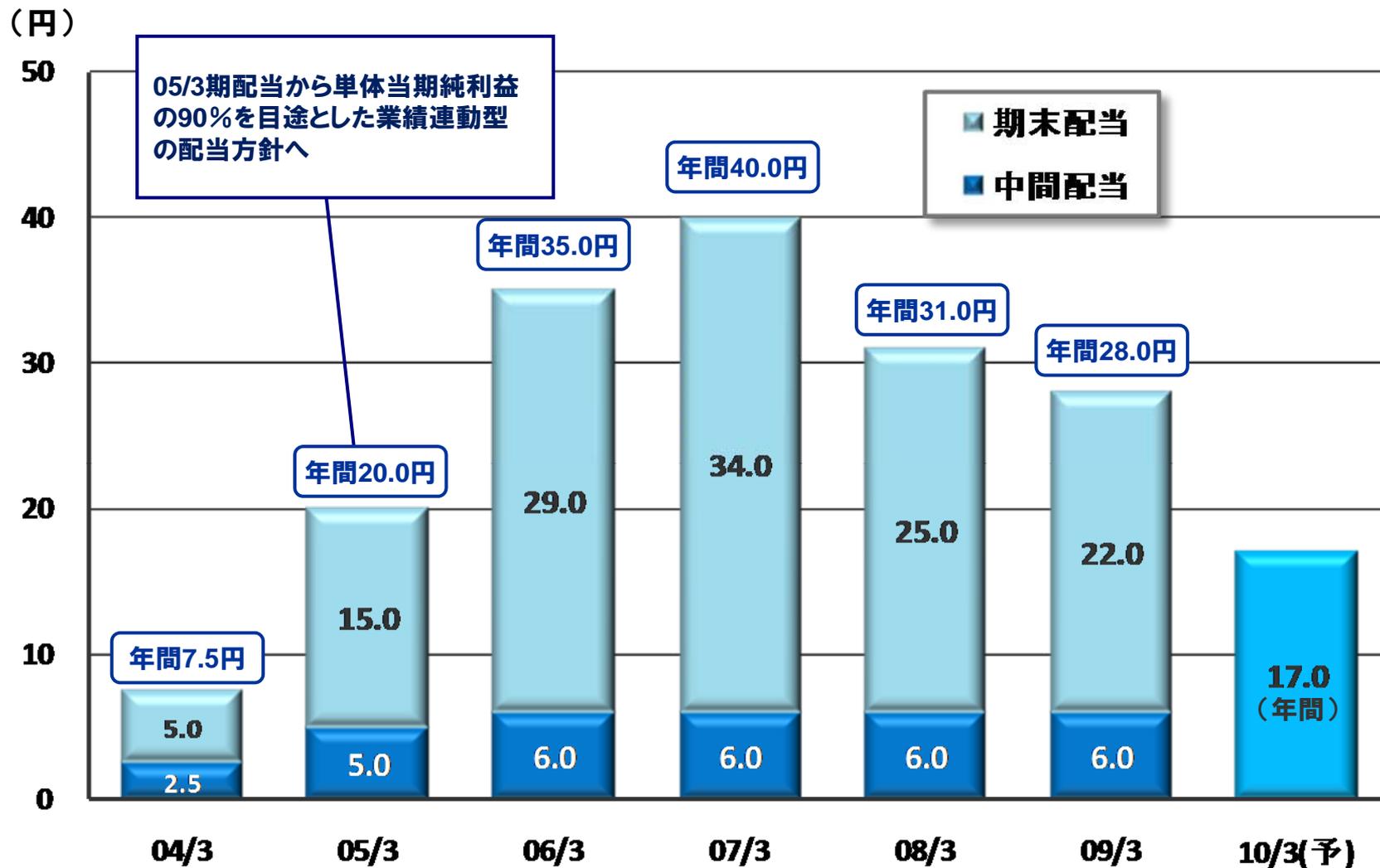
売上高は前期比59.7%減となる見通し

前下期からの自動車関連需要の急減が、今期から誘導加熱装置の売上高に影響

熱処理加工部門は、第2四半期より組織変更に伴い、子会社に移管されるため、第1四半期までの予測を計上。

3. 株主還元

■ 10/3期も単体純利益の90%を目途とした配当方針を継続

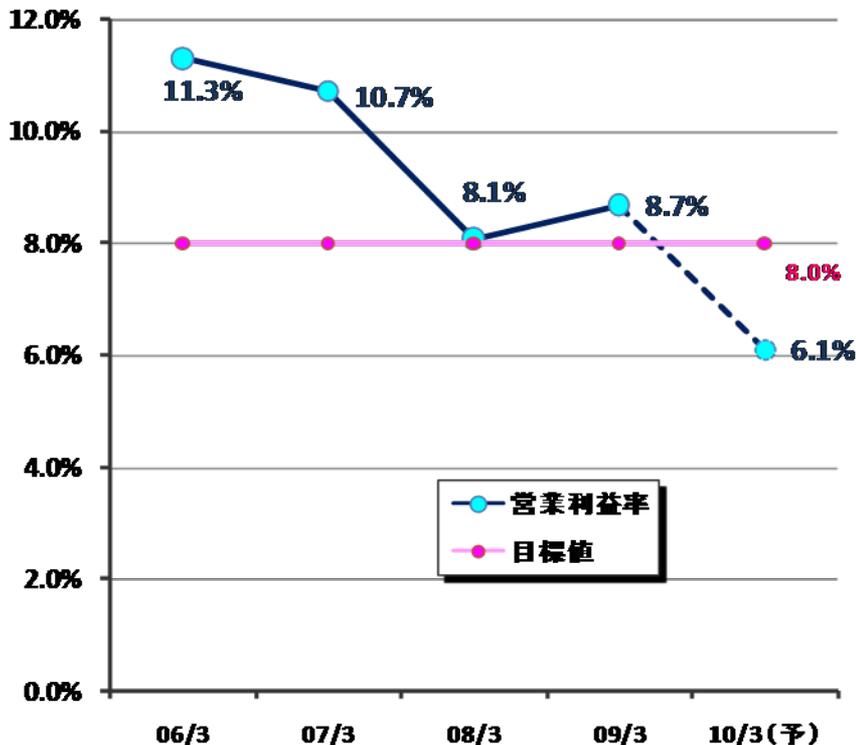


■ 中期的な財務目標として、売上高営業利益率およびROEの目標値を設定

※経営環境は一段と厳しい状況であるため、目標達成には相応の期間が必要と認識

売上高営業利益率（連結）

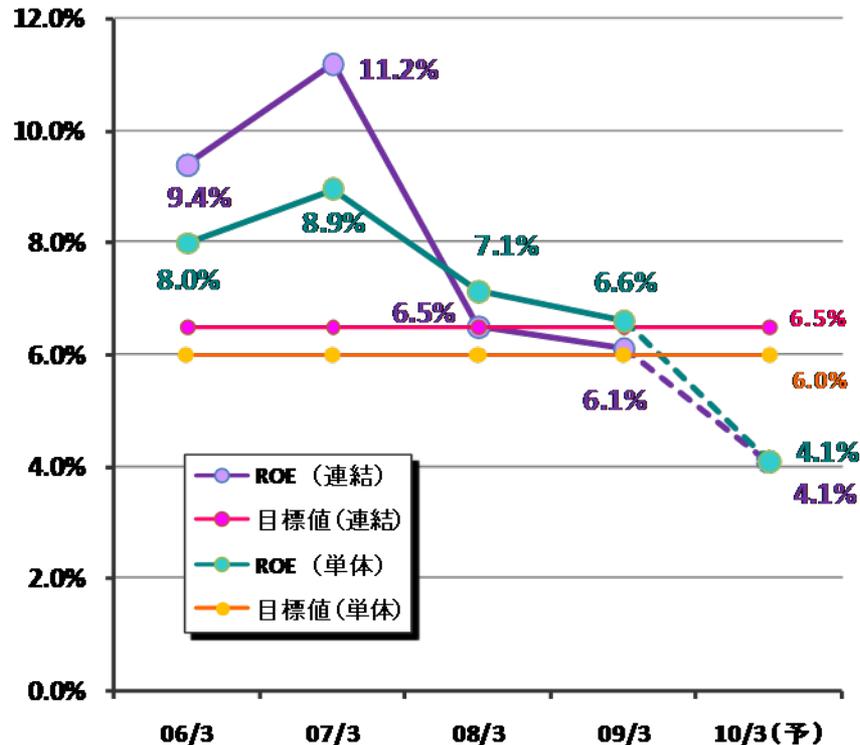
■ 連結営業利益率目標：8.0%以上



ROE（連結・単体）

■ 連結ROE目標：6.5%以上

■ 単体ROE目標：6.0%以上



中期的な事業の取り組みについて

2009/3期 決算説明会資料

Denki Kogyo Co., Ltd.

電気通信部門

今後の主要スケジュール

2010年～
LTEサービスイン

2011年7月
アナログ放送停止

2012年7月
800MHz帯周波数再編

2010/3期

2011/3期

2012/3期

2013/3期

周波数帯概略図



現在の主力事業

移動通信: UHF帯(300MHz~3GHz)

使用周波数帯

- 800MHz帯、1.5GHz帯、1.7GHz帯、2GHz帯
⇒ 携帯電話
- 2.5GHz帯 ⇒ モバイルWiMAX

放送: VHF帯(30MHz~300MHz)

使用周波数帯

- 100MHz帯 ⇒ (NHK)
- 200MHz帯 ⇒ (民放) ※ 東京圏のアナログ放送

- 2010年にドコモがLTEをサービスイン (UHF)
⇒ 2011年3月期より需要が本格化の見込み
・ LTEを当初は2GHz帯で展開見込み、加えて1.5GHz帯アンテナの需要も発生する見込み
- 2011年地上波アナログ放送停止 (VHF)
⇒ 現在のVHF帯のテレビ放送に割り当てられている200MHz帯がモバイル機器向けの放送に割り当てられる予定
・ 全国区の設定投資が実施される予定
- 2012年に800MHz帯周波数再編 (UHF)
⇒ 周波数の再編に伴い、700MHz帯が新たに移動通信に割り当てられる予定
・ アンテナ需要の発生
- 将来的には3.4GHz~3.6GHzの帯域を利用して第4世代の移動通信需要も (SHF)

高周波部門

誘導加熱装置

- 自動車部品等の強化処理用各種誘導加熱装置の製造

熱処理加工

- 自動車部品等の強化処理の受託加工
(当社の誘導加熱装置を使用)

現在の主力事業

- **主要顧客**
 - 国内自動車メーカー
 - 国内自動車部品メーカー
- **主要製品**
 - エンジン部品(クランクシャフト等)向け設備
 - ミッション部品(ギア等)向け設備



- **海外拠点の設立**
 - ⇒ 中国、インド、東南アジアに拠点設立の検討
 - 自動車産業の回復、成長が見込める市場への進出
- **事業領域の拡大**
 - ⇒ 焼入技術の自動車以外の製品への展開
- **汎用型焼入機、焼戻機の拡販、展開**
 - ⇒ 焼入機(DENKO CUBO)、
焼戻機(Denko-CARRIER HEATER)を開発
 - 受注生産ではない新しい事業展開

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。